

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、まちづくりに取り組む上で、市民が市政に対してどのような意識をもっているか市政全般にわたる考えを広く聞き、その意向を行政に反映させることを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内在住の18歳以上の方
標本数	3,000人（無作為抽出）
調査方法	郵送による配布・回収（郵送法）
調査時期	令和元年7月25日～8月9日
調査地域	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,560
有効回収率	52.0%

(4) 本調査結果報告書の留意点

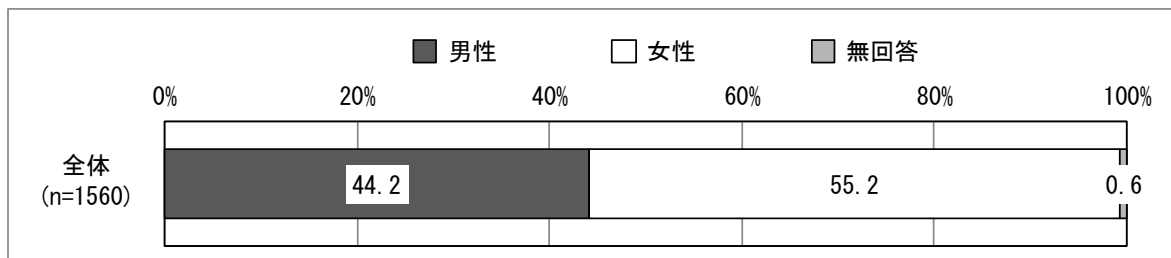
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- ・比率は百分率（単位：％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ・基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出した。
- ・質問の終わりに【複数回答】とある問いは、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問いのため、各回答のn比率は100%を超える場合がある。
- ・問いの中には「～に○と答えた方にお尋ねします。」などいろいろな制限があり、回答者の数が少ない問いが含まれる。また、クロス分析においても項目によっては回答者数が少なく、有意性が低いものもある。
- ・文中や図表の文言について、選択肢の一部を省略している。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。

2 回答者の属性

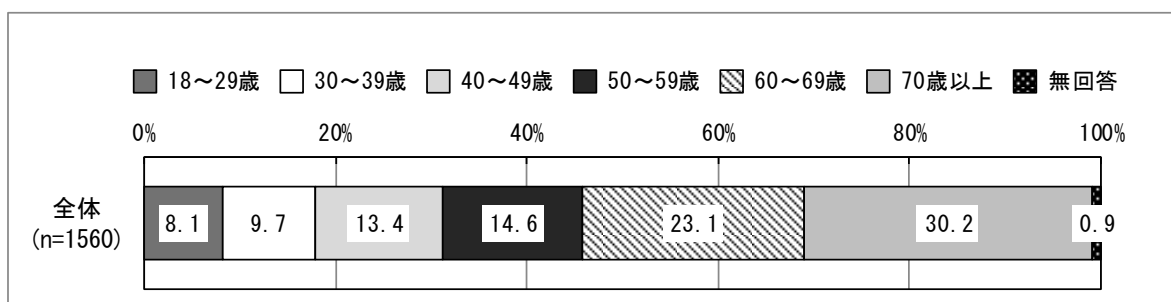
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が55.2%、「男性」が44.2%となっている。



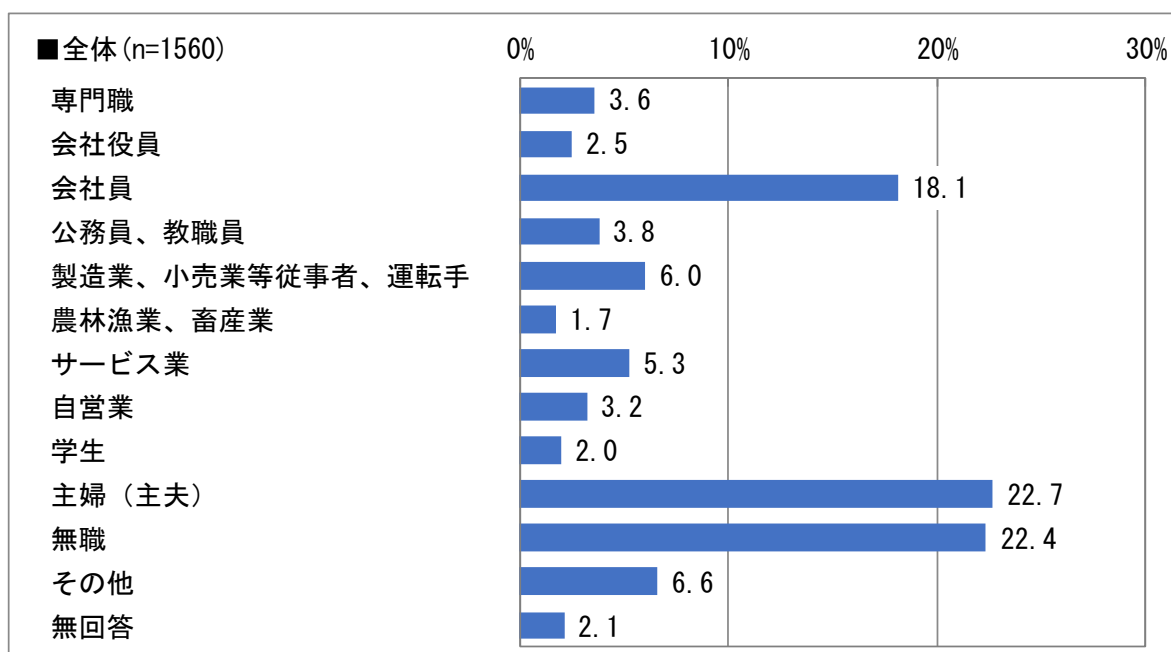
(2) 年齢

年齢は、「70歳以上」が30.2%で最も多く、次いで「60～69歳」(23.1%)、「50～59歳」(14.6%)、「40～49歳」(13.4%)、「30～39歳」(9.7%)、「18～29歳」(8.1%)の順となっている。



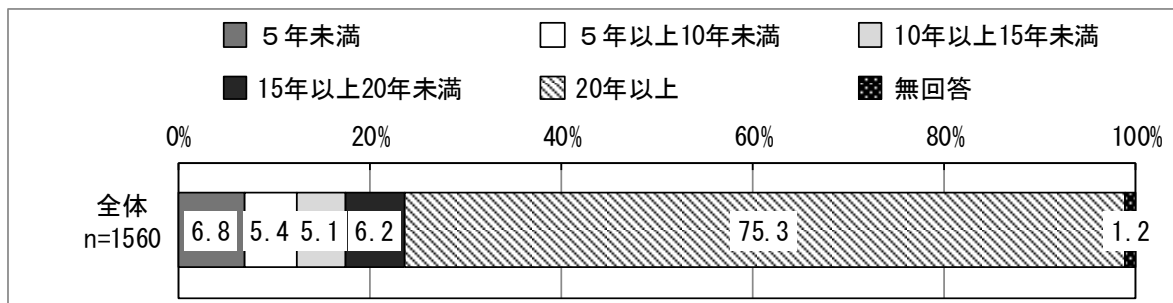
(3) 職業

職業は、「主婦(主夫)」が22.7%で最も多く、次いで「無職」(22.4%)、「会社員」(18.1%)、「製造業、小売業等従事者、運転手」(6.0%)などの順となっている。



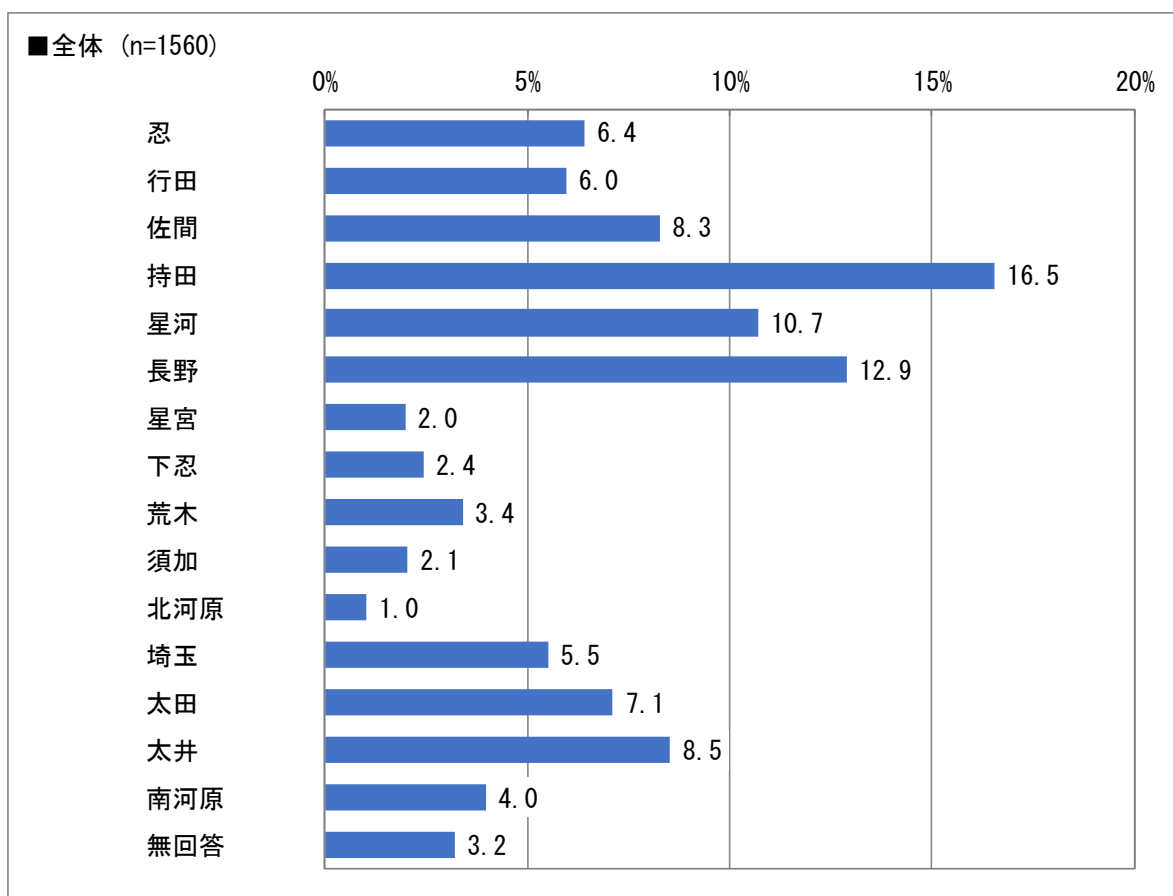
(4) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が75.3%で最も多く、次いで「5年未満」(6.8%)、「15年以上20年未満」(6.2%)、「5年以上10年未満」(5.4%)、「10年以上15年未満」(5.1%)の順となっている。



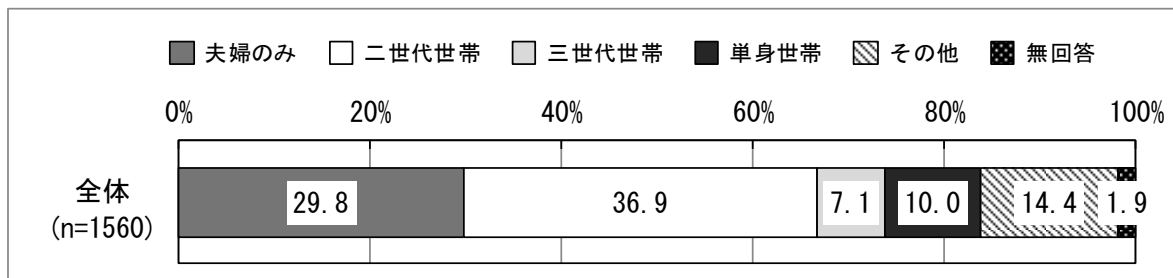
(5) 居住地区

居住地区は、「持田」(16.5%)が最も多く、次いで「長野」(12.9%)、「星河」(10.7%)、「太井」(8.5%)、「佐間」(8.3%)、「太田」(7.1%)、「忍」(6.4%)、「行田」(6.0%)、「埼玉」(5.5%)、「南河原」(4.0%)、「荒木」(3.4%)、「下忍」(2.4%)、「須加」(2.1%)、「星宮」(2.0%)、「北河原」(1.0%)の順となっている。



(6) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯」(36.9%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(29.8%)、「単身世帯」(10.0%)、「三世世代世帯」(7.1%)の順となっている。



(7) 住居形態

住居形態は、「(持ち家) 一戸建」が9割近くを占めている。

